平成 23 年 1 月 28 日

各　　位

会社名　　札幌北洋ホールディングス
（コード番号 8328　東証第 1 部・札証）

平成 23 年 3 月期第 3 四半期の業績（速報値）について

札幌北洋グループの平成 23 年 3 月期第 3 四半期業績の概要について、現時点における見通し（速報値）を下記の通りお知らせいたします。

記

１．平成 23 年 3 月期第 3 四半期の業績の概要

(1) 損益（札幌北洋グループ連結）

・「経常利益」は、信用コストの減少を主因に 276 億円と前年比 36 億円増加の見通し。
・「四半期純利益」は、保守的な法人税等調整額の計上などにより 181 億円と前年比 39 億円減少の見通し。ただし、通期業績予想対比では、既に 90%（ ＞75%）の進捗率となっており順調に推移している。

（単位：億円）	平成 22 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 （実績）	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 （速報値）	前年比	進捗率
経常利益（連結）	240	276	36	89%
四半期純利益（連結）	220	181	△39	90%

※進捗率＝第 3 四半期利益（速報値）／通期業績予想利益

(2) 預貸金（北洋銀行）

・「資金量末残」は、6 兆 7,564 億円と前年比 648 億円増加の見通し。
・「貸出金末残」は、5 兆 1,747 億円と前年比 200 億円増加の見通し。

（単位：億円）	平成 21 年 12 月末 （実績）	平成 22 年 12 月末 （速報値）	前年比
資金量末残（北洋銀行）	66,916	67,564	648
貸出金末残（北洋銀行）	51,547	51,747	200

※資金量＝預金＋譲渡性預金

(3) その他主要計数

・札幌北洋グループ連結の「その他有価証券評価損益」は、732 億円と 3 月末比 92 億円減少の見通し。
・北洋銀行の「金融再生法開示債権」は、1,853 億円と 3 月末対比 102 億円減少の見通し。
「開示債権比率（部分直接償却後）」は、2.68%と 3 月末対比 0.07 ポイント改善の見通し。
・札幌北洋グループ連結の「自己資本比率」は、11.2%程度と 3 月末比 0.6 ポイント程度の上昇見通し。

（単位：億円、%）	平成 22 年 3 月末 （実績）	平成 22 年 12 月末 （速報値）	3 月末比
その他有価証券評価損益（連結）	824	732	△92
金融再生法開示債権（北洋銀行） （開示債権比率）	1,955 (2.75)	1,853 (2.68)	△102 (△0.07)
自己資本比率（連結）	10.52	11.2 程度	0.6 程度

※金融再生法開示債権額は部分直接償却前の金額、開示債権比率は部分直接償却後の比率

２．損益の概要（札幌北洋グループ連結）

・平成 22 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結コア粗利益は、外国為替売買益の減少によりその他業務利益が前年比 13 億円減少したことを主因に、899 億円と前年比 13 億円減少の見通し。

・経常利益は、信用コストの減少を主因に、276 億円と前年比 36 億円増加の見通し。

・北洋銀行における保守的な将来課税所得の見積額の見直しによる法人税等調整額の増加や、北洋銀行優先株式への配当金の少数株主利益への計上などにより、四半期純利益は 181 億円と前年比 39 億円の減少の見通し。

【札幌北洋グループ連結（第 3 四半期累計期間）】　（単位：億円）

		平成22年3月期 第 3 四半期 （実績）	平成23年3月期 第 3 四半期 （速報値）	前年比	平成 23 年 3 月期 （通期計画）
経常収益		1,362	1,270	△92	1,667
連結コア粗利益		912	899	△13	1,191
	資金利益	735	737	2	
	役務取引等利益	141	138	△3	
	その他業務利益	35	22	△13	
経費（除く臨時処理分）		555	586	31	791
連結コア業務純益		356	312	△44	400
	信用コスト	124	51	△73	113
	有価証券等関係損益	12	6	△6	0
経常利益		240	276	36	308
四半期（当期）純利益		220	181	△39	200

※ 連結コア粗利益 ＝ 資金利益 ＋ 役務取引等利益 ＋ その他業務利益 － 国債等債券関係損益
信用コスト ＝ 貸倒償却引当費用 ＝ 一般貸倒引当金繰入額 ＋ 貸倒損失額
有価証券等関係損益 ＝ 国債等債券関係損益 ＋ 株式等関係損益 ＋ 金銭の信託運用損益
連結コア業務純益 ＝ 連結コア粗利益 － 経費（除く臨時処理分）

【ご参考：北洋銀行（第 3 四半期累計期間）】　（単位：億円）

		平成22年3月期 第 3 四半期 （実績）	平成23年3月期 第 3 四半期 （速報値）	前年比	平成 23 年 3 月期 （通期計画）
経常収益		1,118	1,028	△90	1,350
コア業務粗利益		861	848	△13	1,121
	資金利益	732	735	3	
	役務取引等利益	109	106	△3	
	その他業務利益	19	6	△13	
経費（除く臨時処理分）		541	574	33	777
コア業務純益		319	273	△46	344
	信用コスト	91	30	△61	81
	有価証券等関係損益	13	6	△7	0
経常利益		238	261	23	285
四半期（当期）純利益		216	192	△24	205

３．主要勘定残高（北洋銀行）

・資金量末残は、個人預金及び公金預金の増加により 6 兆 7,564 億円と前年比 648 億円の増加の見通し。

・預かり資産末残は、公共債保護預かり及び投資信託は減少したものの、個人年金保険等が増加したことにより 7,259 億円と前年比 449 億円の増加の見通し。

・貸出金末残は、個人向け及び地公体向けの増加により 5 兆 1,747 億円と前年比 200 億円増加の見通し。

・有価証券は、価格変動リスクの高い有価証券の削減により 1 兆 5,505 億円と前年比 343 億円減少の見通し。

【北洋銀行】　（単位：億円）

	平成 21 年 12 月末（実績）	平成 22 年 12 月末（速報値）	前年比	年率
資金量	66,916	67,564	648	0.9%
預かり資産	6,810	7,259	449	6.5%
貸出金	51,547	51,747	200	0.3%
有価証券	15,848	15,505	△343	△2.1%

※ 資金量 ＝ 預金＋譲渡性預金
預かり資産 ＝ 公共債保護預かり＋投資信託＋個人年金保険等（販売累計額）

４．その他有価証券の評価損益

・その他有価証券の評価損益は、相場低迷の影響等により、札幌北洋グループ連結で 732 億円と 3 月末対比 92 億円減少の見通し。

・北洋銀行では、723 億円と 3 月末対比 90 億円減少の見通し。

（単位：億円）

	札幌北洋グループ			北洋銀行		
	平成 22 年 3 月末（実績）	平成 22 年 12 月末（速報値）	3 月末比	平成 22 年 3 月末（実績）	平成 22 年 12 月末（速報値）	3 月末比
その他有価証券	824	732	△92	813	723	△90
株 式	285	250	△35	274	241	△33
債 券	270	322	52	270	322	52
その他	268	159	△109	268	159	△109

＜ご参考＞

	平成 22 年 3 月末	平成 22 年 12 月末	3 月末比
日経平均株価　（円）	11,089	10,228	△861
新発 10 年国債利回り（%）	1.395	1.110	△0.285

５．金融再生法開示債権（北洋銀行）

・金融再生法開示債権は、最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少を主因に 1,853 億円と 3 月末対比 102 億円減少の見通し。

・開示債権比率（部分直接償却後）も、2.68％と 3 月末対比 0.07 ポイント改善の見通し。

【北洋銀行】　（単位：億円、％）

		平成 22 年 3 月末 （実績）	平成 22 年 12 月末 （速報値）	3 月末比
	破産更生等債権	772	677	△95
	危険債権	822	834	12
	要管理債権	360	342	△18
金融再生法開示債権 （開示債権比率）		1,955 （3.65）	1,853 （3.50）	△102 （△0.15）
	※部分直接償却後 （開示債権比率）	1,462 （2.75）	1,410 （2.68）	△52 （△0.07）

※ 当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。
※ 開示債権比率＝金融再生法開示債権÷総与信×100

６．自己資本比率（概算値）

・22 年 12 月末の自己資本比率（概算値）は、札幌北洋グループ連結で 11.2%程度、北洋銀行で 10.9%程度と、3 月末対比で 0.6 ポイント程度改善の見通し。

【札幌北洋グループ】

	平成 22 年 3 月末 （実績）	平成 22 年 12 月末 （概算値）	3 月末比
自己資本比率	10.52%	11.2%程度	+0.6%程度
Tier I 比率	7.30%	7.9%程度	+0.6%程度

【北洋銀行】

	平成 22 年 3 月末 （実績）	平成 22 年 12 月末 （概算値）	3 月末比
自己資本比率	10.26%	10.9%程度	+0.6%程度
Tier I 比率	6.69%	7.3%程度	+0.6%程度

７．平成23年3月期の通期の業績予想について

当第3四半期の連結四半期純利益の見通しは181億円と、通期の業績予想対比90%の進捗となる見通しですが、経済情勢等が引き続き予断を許さない状況にあることを踏まえ、平成23年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点での変更はいたしません。

以　上

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。 実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。